



歯科国試
パーフェクトマスター

歯科矯正学

清水典佳・鈴木里奈 著

第2版

令和5年版

歯科医師国家試験出題基準 対応



歯科医師国家試験

合格に

この1冊!



医歯薬出版株式会社

はじめに

歯科矯正学は近年目まぐるしい発展を遂げており、楽しみ尽くすことのない奥の深い学問です。私が歯科矯正学を学び始めたころは、数えるほどしかなかった関連書籍も今や多数存在しますが、残念ながら玉石混合で科学的根拠の乏しいものも散見されます。その中で信頼できる書籍を選んで網羅することは容易ではありません。

近年の厳しい歯科医師国家試験を受験する学生にとっては、歯科矯正学の中でも歯科医師として具備すべき知識および技能を重要度の高い順に効率よく習得することが必要です。しかし国家試験のために改めて教科書を開いても、その内容は膨大で、項目の重要度、優先度の記載はなく、さらに教科書は歯科矯正学を系統的に章として記載しており、数章にまたがる内容の関連性や付随事項についての記載もわずかです。章を超えて関連項目を包括的に学習することで、理解が深まり応用力が格段に身につくものと考えられます。

このような考えのもと、本学では歯科医師国家試験対策として長年に渡り歯科矯正学の重要項目をまとめ、学生教育に利用してきました。その内容を“歯科国試パーフェクトマスターシリーズ”として、2016年に第1版を発刊し、6年間好評をいただいておりますが、このたび第2版としてリニューアルすることとなりました。第2版出版にあたり、歯科医師国家試験出題基準に準拠した内容を精査し、教科書だけでは読者の皆さんが理解しにくい点や間違いやすい点を、写真や図表を多く用いてわかりやすく解説するとともに、関連性の深い項目については章を超えて連結することで、包括的応用力を身に着けられるようにしました。さらに毎年出題される新問題についても詳細に検討し、記載内容の加筆、修正、図の変更、追加などにより漏れのない内容としました。また、臨床実地問題対策として頻出の症例をまとめて付録とし、各症例の特徴、分析値の読み方、治療方針立案、治療による変化などを解説することで、臨床に即した応用力を習得し、タクソノミーⅡ、Ⅲ型問題にも対応できるようにしました。

本書をニューアルしたことで歯科矯正学を一層効率よく理解できる力強い1冊になったと自負しております。本書を歯科医師国家試験対策書として活用していただくのはもちろんのこと、ベーシックな歯科矯正学の参考書として歯科医療に携わる多くの方々に利用していただければ望外の喜びです。

矯正力に対する生体反応

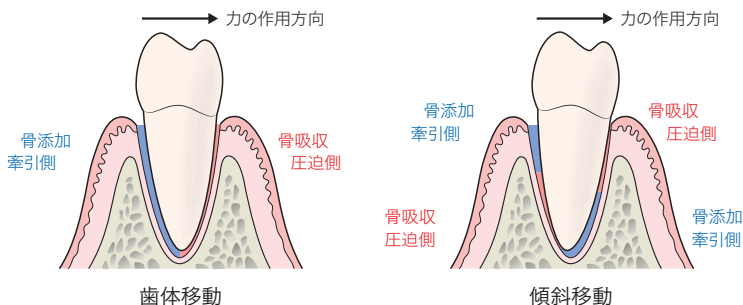
Check Point

- ・ 矯正力に対する歯周組織の反応を，圧迫側，牽引側に分けて理解する。
- ・ 歯根吸収のリスクファクターを理解する。
- ・ 矯正学的な歯の移動の様相について理解する。
- ・ 適切な矯正力，過大な矯正力に対する生体反応について理解する。

I. 歯根膜の変化



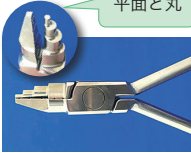




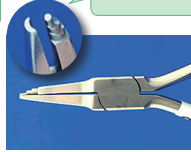


矯正力を歯に作用させると，歯周囲の歯槽骨で骨リモデリングが生じ，歯は力の作用方向へ移動する．このとき，歯根膜には圧迫側と牽引側という2つの領域が形成される．



矯正用器械・器具

Check Point

- ・矯正用器械・器具の名称と形態を覚える。
- ・矯正用器械・器具の用途・使用法を理解する。

種類		鉗子および器具				
線 屈曲 の た め の 器 具	太い線 (補助弾線など) の 屈曲 ・ 矯正装置の主線	<p>ヤングのプライヤー</p> <p>太い根元部は主線、細い先端部は補助弾線の屈曲に用いる。</p> <p>平面と丸</p> 	<p>ピーソーのプライヤー</p> <p>主線の屈曲に用いる。補助弾線の屈曲には適さない。</p> 	<p>三嘴プライヤー</p> <p>主線の屈曲に用いる。クワドヘリックスの活性化に適する。</p> <p>先端が3つ</p> 		
	細い線 (アーチワイヤー) の 屈曲	<p>バードピックプライヤー</p> <p>主に丸型線の屈曲に用いる。太い線を屈曲するタイプも細い線を屈曲するタイプもある。</p> <p>平面と丸</p> 	<p>ツイードのアーチベンディングプライヤー</p> <p>角型線にオフセット、インセット、トルクを付与する。</p> <p>平面と平面</p> 	<p>ループフォーミングプライヤー</p> <p>オメガループを付与する。</p> <p>半円形と丸</p> 	<p>ジャラバックのプライヤー</p> <p>主に細い丸型線の屈曲に用いる。</p> <p>平面と丸、細く繊細</p> 	<p>ライトワイヤープライヤー</p> <p>主に細い丸型線の屈曲に繁用される。バードピックの一種。</p> <p>平面と丸、細く繊細</p> 

付録1

絶対押さえておきたい国試頻出の症例

- CASE 1** Angle I級 叢生（抜歯ケース）…………… 145
 永久歯列期 「前歯がガタガタなのが気になる」
- CASE 2** Angle I級 上下顎前突（抜歯ケース）…………… 146
 永久歯列期 「口元が出ているのが気になる」
- CASE 3** Angle III級 骨格性下顎前突（抜歯ケース）…………… 147
 永久歯列期 「下あごが出ているのが気になる」
- CASE 4** Angle III級 骨格性下顎前突（非抜歯ケース）…………… 148
 永久歯列期 「前歯が反対に咬んでいるのが気になる」
- CASE 5** Angle II級 骨格性上顎前突（上顎過成長）…………… 149
 混合歯列期 「上の前歯が出ているのが気になる」
- CASE 6** Angle II級 骨格性上顎前突（下顎劣成長）…………… 150
 混合歯列期 「出っ歯なのが気になる」
- CASE 7** Angle III級 機能性下顎前突…………… 151
 混合歯列期 「前歯が反対に咬んでいるのが気になる」
- CASE 8** Angle III級 骨格性下顎前突（下顎過成長）…………… 152
 混合歯列期 「下あごが前に出ているのが気になる」
- CASE 9** Angle III級 骨格性下顎前突（上顎劣成長）…………… 153
 混合歯列期 「咬み合わせが逆なのが気になる」
- その他** 特徴的な症例…………… 154
 開咬，Angle II級2類，二重歯列，唇顎口蓋裂

付録 2

解ける！ 歯科矯正学

- ① 骨格性開咬，骨格性下顎前突の特徴を問う問題…………… 156
- ② Angle II 級 2 類の特徴を問う問題…………… 157
- ③ 機能性下顎前突の診断に関する問題…………… 158
- ④ 機能性下顎前突の治療と治療後の変化を問う問題…………… 159
- ⑤ 手術を併用した骨格性下顎前突治療の変化を問う問題…………… 161
- ⑥ 上下顎前突の治療後の変化を問う問題…………… 162
- ⑦ 下顎の前方位を習慣化させる骨格性上顎前突治療の
変化を問う問題…………… 163
- ⑧ 咬合挙上板に関する問題…………… 164
- ⑨ 非抜歯矯正後の変化を問う問題…………… 164